

## 関東の輸送ネットワークを支える「関東ハブセンター」が本格稼働

輸送効率化と持続可能な物流の実現を推進

SG ホールディングスグループの佐川急便株式会社（本社：京都市南区、代表取締役社長：笹森公彰）は、東京都江東区に新設した「関東ハブセンター」を、2026 年 7 月 21 日より本格稼働いたします。

今回本格稼働する関東ハブセンターは、関東エリアにおける輸送ネットワークのさらなる効率化を目的とした大規模中継拠点です。輸送ネットワーク網の要として荷物の集約効果を高めることで、積載効率の向上、また大型トラックの運行台数を最適化し、物流増への対応強化を図ります。

さらに、自動化設備の導入により、省人化および人員配置の最適化を図り、安定的かつ高品質な輸送体制の構築を進めます。



関東ハブセンター（東京都江東区）の外観

### ■特徴

#### ・関東エリアの輸送ネットワークを強化

関東ハブセンターは、関東エリアにおける幹線輸送の重要拠点として、各地から集まる荷物を集約・仕分けし、次の輸送先へつなぐ役割を担います。拠点間輸送の効率化を図り、より安定した輸送ネットワークの構築を進めます。

## ・輸送効率化とCO<sub>2</sub>排出量削減への取り組み

荷物の集約効果を高めることで、大型トラックの積載効率を向上させ、運行台数の最適化を目指します。これにより、輸送に伴うCO<sub>2</sub>排出量の削減にもつなげ、持続可能な物流の実現に貢献してまいります。

## ・自動化設備による省人化・品質向上

施設内には自動化設備を導入し、仕分け作業の効率化と省人化を図ります。これにより、人員配置の最適化を進めるとともに、物流品質の維持・向上を目指します。

## ■ 関東ハブセンター概要

|       |                                                    |
|-------|----------------------------------------------------|
| 名称    | : 関東ハブセンター                                         |
| 所在地   | : 東京都江東区                                           |
| 延べ床面積 | : 87,561.31 m <sup>2</sup> ※中継センターが入居する施設の延べ床面積です。 |
| 処理能力  | : 5万個／時間                                           |
| バース数  | : 162 バース                                          |
| 主な役割  | : 関東エリアにおける中継機能の強化、輸送ネットワークの効率化                    |

## ■ 今後の展望

佐川急便は、全国の主要エリアにおけるハブ機能の強化を進め、より効率的で環境負荷の少ない輸送ネットワークの構築に取り組んでいます。

関東エリアにおいては、今回本格稼働する関東ハブセンターと、既存の大型物流施設「Xフロンティア®」内の中継機能が連携することで、首都圏を中心とした輸送ネットワークの安定性と効率性をさらに高めてまいります。両拠点の機能を最大限に活用し、関東エリアにおける荷物の集約・仕分け・幹線輸送を支える基幹インフラとして、より高品質な物流サービスの提供を目指します。

また、関東ハブセンターに続き、2027年2月には兵庫県尼崎市に「関西ハブセンター」、2028年には福岡県に「九州ハブセンター」の稼働開始を予定しています。

これらの大型ハブセンターを順次展開することで、関東・関西・九州を結ぶ広域輸送ネットワークの最適化を図ります。長距離輸送における積載効率の向上、幹線輸送の安定化、CO<sub>2</sub>排出量の削減、物流品質のさらなる向上により、将来的な物量増加や輸送需要の変化にも柔軟に対応できる、持続可能な輸送体制の構築を目指します。

佐川急便は、これからも、お客さまやパートナー企業の皆さまとともに、持続可能な物流の実現に向けて、着実に、一歩一歩取り組んでまいります。

SGホールディングスグループは、純粋持株会社SGホールディングス株式会社と、その傘下にある佐川急便株式会社をはじめとした事業会社で構成された総合物流企業グループです。

<報道関係お問い合わせ先>

佐川急便株式会社 広報部 広報担当

tel: 03-3699-3614 fax: 03-3699-3444 mail: pr@sagawa-exp.co.jp